

教材提供者としての企業

良 香織

1. はじめに

ここでは、企業による思春期の子どもたちを対象とした教育的取り組みについて検討する。以前の調査において、学校の初経教育を受けた感想として、「肯定的」な感想を持った者に対する聞き書き調査を実施したところ、月経用品の取り扱い方が印象に残っていること、また、試供品や付属の小冊子から受けた印象が強いという発言が見られた。

これらの結果から、企業の提供する月経用品の試供品や、月経に関する解説書などは、月経用品の販売が目的であったとしても、教育的効果がある教材といえよう。そこで、企業の思春期の子どもたちを対象とした企業の教育的取り組みの変遷と、性教材として学校に配布していた小冊子の内容について、より具体的に検討していきたい。また、小野は生理用品の開発に取り組む企業のインターネットの内容を分析しているが、そのタイプは3つに分けられ、①おむつ、生理用品、おりものシートまでを含む全ての用途のナプキンに関するもの、②初経を迎える人または迎えた思春期の女性を対象にしたもの③リプロダクティブエイジの女性を対象としたもの、であることを明らかにしている¹⁾。そこで、本研究では、前述した小冊子とともに、小野が明らかにした②にあたる内容を分析に加えたい。

2. 調査対象〔表1〕

企業の取り組み及び小冊子の内容を検討するに先立ち、エーシーニールセンジャパンによる継続的な販売動向調査「2000年度トイレタリーTOP 50ブランド分析」で、多く利用されている生理用品を製造し

ている会社を確認した²⁾。その調査によると、「ソフィ」（チャーム工業株式会社：以下、ユニ・チャーム）が2位、「ロリエ」（花王株式会社：以下、花王）が6位、「ウィスパー」（プロクター・アンド・ギャンブル・ファー・イースト・インク：以下P & G）が11位、「チャームソフトタンポン」（前掲、ユニ・チャーム）が33位であり、前年の結果を見ても、ランキングの順位には変わりはなく、生理用品は、主にユニ・チャーム、P & G、花王の3ブランドの激しい競争が窺われている。これらのブランドはその配荷率の高さから見ても、常に定番として棚に置かれている商品が殆どであり、長年トップを争ってきたブランドである。また、1999年調査の中学3年生、高校1年生を対象とした「ナプキン使用調査³⁾」によると、1位はP & Gの「ウィスパー」、2位は花王の「ロリエ」、3位は「ソフィ」という結果であり、エーシーニールセンの結果とは順位に違いがあるが、いずれも上位三社名には変わりなかった。

さらに、これら3社に加え、近年では、大王製紙株式会社（以下、大王製紙）は、思春期の子どもたちを対象とした独自の調査を行い、10代特有の生活スタイルや月経に関する悩みに対応した月経用品を開発していることから、調査対象とした⁴⁾。また、株式会社エフティ資生堂（以下、資生堂）は、生理用品を機能性とファッション性の両面を考慮し、「生理がポジティブにとらえられるようなデザインや操作性」を検討した「センターイン」を販売していることから、これも対象に加え、対象企業は5社とした。

3. 調査方法

各社に、思春期の子どもたちに対する教育的取り組みを実施しているかについて、電話で担当部所に問い合わせた。教育的活動（小冊子の配布等）の経緯について聞くとともに、現在、教材として配布している資料、以前配布していた資料を収集し、その内容を検討した。検討した小冊子および関連サイトは各社とも以下の通りである。ユニ・チャームは小冊子3冊、およびホームページ、P & Gは小冊子6冊、ビデオ教材（付属冊子1冊）、ホームページ、花王は小冊子1冊、ホームページ、大王製紙は1冊であった。

4. 調査期間

2000年、2005年

5. 調査結果

①ユニ・チャーム〔表2-①〕

同社は、1960-70年代にかけて、月経は隠すものであるという暗いイメージを払拭すべく、キャンペーン活動を行っている。71年には、その一貫として、はじめての月経用品のコマーシャルが放映され、出演タレントは研ナオコであった。その前後に試供品配布にあわせて学校における販売とあわせた教育的取り組みを開始している。具体的な取り組みの開始および資料は記録が不在のため、明確ではない。80年代になると、学校における試供品の配布およびナプキン・ショーツの販売が行われている。平成4年以前から子どもや母親を対象とした小冊子が発行されていた事は確認できたが、資料として残されていないとの事である。現在、残されている小冊子で、一番古いものは、平成4年に発行された小冊子「すてきなレディへの第一歩 新しいわたしにSAYHELLO!」の平成10年改訂版、平成13年改訂版であった。また、平成4年に発行された母親向けの小冊子「はじめての不安、おぼえていますか？おかあさまの

相談室」を入手することができた。それに加え、現在配布されている小冊子「はじめてからだBOOK for girls」を入手できたので、これらの内容を検討する。これは2004年に学研とともに作成されており、当初、雑誌や読売、毎日、日経新聞、雑誌ピチレモンに広告を掲載している。配布状況を見ると、学研と共同で約4000校（一都三県を対象）に配布したとしている。学校基本調査によると⁵⁾、一都三県（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）の小学校数はあわせて、4000校弱であることから、関東圏の小学校の全校に一時期は配布されていたということになる。基本的に問い合わせに応じて小冊子と試供品を配布するという形式をとっている。さらに、公式ホームページ上でも、「はじめてからだナビ for girls」が作成されており、内容は現在配布されている小冊子とほぼ同様の内容となっている。

②花王〔表2-②〕

2000年時には、小冊子および試供品の配布に加え、ファックスによる相談も実施しているとの事であった。それは、「初経期のみなさんへ」「初経期のお子さんがいらっしゃるおうちの方へ」とし、ボックス番号による質問に応じている。他にも電話相談やインターネットにより、月経や体に関する情報を提供している。ホームページ上では、「からだの相談室」が随時、更新されており、河野美代子（河野産婦人科クリニック）による対応であり、初経前後の体の変化によるものから、薬の利用についての相談まで幅広い。2003年には、からだノート～おとなになるということ～CD版を改訂している。2005年現在では「からだノートおとなになるということ」というサイトが作成されている。

③ P & G [表 2-③]

同社は、10 代前半を「エントリーポイント」として重視し、「使い始めから快適で安心」を商品開発の理念に捉えており、「使用時に失敗しません」と「安心感」を強調して、ローティーン的需求を開拓している。これは、10 代から 40 代後半までを対象に毎年実施している調査で「使い始めのころに失敗すると、その商品を決して使わなくなる」というデータが出ていることによる。

このような理念のもとに、ナプキンと下着を固定する羽根の機能が開発された。「大きさは他者の 2 倍以上で、もれの最大の原因となるズレを防ぐ」ものにし、下着の曲線部分にうまくフィットさせるために羽根を折り曲げる部分の伸縮性を高めた「ストレッチウィング」機能を採用した。また、P & G、ワコール両社の研究開発部門、商品開発部門、マーケティング部門による共同開発によるワコール独自の技術を生かして、ウィスパー商品と最も合う生理用ショーツを開発している。また、経血によるニオイを吸収し、湿気をにがしてムレを防ぐ、グリーンシートの開発により、ニオイが気にならないナプキンを開発した。このウィスパーグリーンの開発に伴い、ホームページ上では、生理周期のしくみやそれに合わせた情報を提供している。通信が携帯電話やパソコンに送信される月経記録サービスを開始した。

初経教育への取り組みは、1988 年から小学校 5 年生を対象に、初経に関する教育、啓発を中心とした性教育プログラムが続いている。「より実践的で役に立つ知識を責任を持って」届けたいということ、学校関係者より生理用ナプキンの試供品を授業で使いたいとの要望があり、1988 年から 2002 年春まで配布された。このプログラムでは、P & G から案内を送付し、申し込んだ小学校全てに配布していた。案内を送付しなかった小学校についても、連絡、希望に

より次年度より送付していた。1999 年の配布校は 1 万 8000 校に達し、「小学校 5、6 年の 95 % をカバー(同社)」している。また、消費者相談室には 1986 年から保健士を常駐させ、フリーダイヤルによる電話相談に応じていた。具体的な手順としては、学校から P & G 社に要望があると、必要個数の教材が学校に届けられ、学校の保健体育の授業や「お泊まり行事前の説明会」などで(主に)女子を対象の説明の際に教師から生徒に配布されていた。教材には「保護者の方々へ」という小冊子も同封されており、「女子生徒が家に持ち帰り、保護者に「こんなものをもらった」と見せることを想定して」いた。また、初経時はブラジャーを着け始める年齢であり、この時期に下着に関する正しい知識の普及をめざすワコールを、月経に関する正しい知識の啓発を目指す P & G の考えが一致し、1999 年、4 月より「女の子ブック」にワコールのもつ「ジュニアの身体と下着に関する情報」が加えられた。1999 年 3 月には、学研との共同によるビデオを製作し、1 万 8000 校の小学校に配布していた。を配布後は、アンケートはがきによる調査を実施しており、配布日、配布機会、小冊子とセット外袋についての感想、ウィスパー(小冊子とともに配布されている試供品の商品名)について等、追跡してきた。

しかし、教材および小冊子の配布は、「莫大な投資に見合うビジネスへのリターンがない」こと、教材の使われ方についても、P & G 社が想定していたような使われ方がされていなかったことが事後調査により明らかとなり、有効で有用なプログラムに変えていかなければならないとの判断から、2002 年春に中止となった。

その後、教材に変わるものとして、視聴覚教材としてのウェブサイト“ウィスパーブチ”が作成される。ここでは動画により、月経がおこる仕組みやナプキンの扱い方の紹介、初経前後の悩みに対処している。20

02 年からは受験期の子どもを対象とした取り組み（2003 年には保護者と子どもたちを対象とした調査、受験生を対象とした試供品の配布とその後の調査、専用サイトの作成）を行なっている。

さらに、2005 年 4 月には「ハッピー始・春・期プログラム⁶⁾」が立ち上げられた。これは保護者が思春期の子どもたちについて学ぶプログラムであり、「保護者のための教材」「心と体の両面をサポートする内容」「男女両方の疑問や悩みに答える（保護者が異性の子どもに対しても教えられるように）」「一生のホルモンサイクルが理解できる（思春期～更年期）」を特色としており、テキストは（財）日本学校保健会、産婦人科医の監修である。この事務局では、相談機関は設けられていないが、ホームページ上では、指導者素材としてプログラムで用いられている図はグラフなどを PDF ファイルとしてダウンロードし、指導に利用できるようにしている。また、「実施校レポート」とし、実際にこれらの教材を用いた授業展開の記録が紹介されている。

④大王製紙〔表 2-④〕

2000 年に調べた際には、初経教育に関連した取り組みとして、商品紹介の際、サンプリングの配布等に代替しており、資料の更新作成、配布等の取り組みは実施されていないが、問い合わせに応じて保護者を対象とした資料を配布しているとの事であった。今回（2005 年）入手した小冊子は、平成 11 年度から商品にあわせて作成されたものである。しかし、2005 年現在では初経教育という形での取り組みはされていないとの事である。また、2000 年に調べた際には、公式ホームページ上に、同社の商品である「elis」の情報の中に「*おしえて! elis*」という Q & A コーナーを含むサイトが作成されており、「生理・ナプキン Q & A」「ティーンとお母さんのため

の Q & A」が設けられており、随時、更新されていた。ちなみに「elis」の紹介では、「いつもイキイキ自分らしく! 家庭の主役、女性の『安心』を追求したナプキンシリーズエリエール『elis』」というタイトルの下にナプキンの使い分けが示されていた。しかし、現在では、子どもたちを対象としたサイトはなくなっており、成人女性を対象とした「elis street あなたの数日間を快適に」というサイトが設けられており、商品紹介、月経に関連した「リアルタイムアンケート」、メールによる Q & A が設けられている。

⑤資生堂

同社では、これまでも初経教育という取り組みは実施されていない。ホームページ上では、成人女性を対象とした「PreDli CENTER-IN File」というサイトが設けられており、「センターイン」の歴史（当社生理用品の歴史）、メールによる Q & A が設けられているが、子どもたちを対象としたものはサイト上にも設けられていない。

6. 考察

（1）小冊子の内容分析から

1) 小冊子の内容

各企業の「思春期」の子どもたちを対象とした教材の内容を検討した結果、①身体の発育を自分の問題としてとらえることが出来る内容である。②身体の発育を肯定的にうけとめることが出来る内容である。③ピア・エデュケーション的な効果が期待できる。④個別対応が可能であるという特徴があることがわかった。以下ではこれらの特徴を見ていく。

①身体の成長を自分の問題としてとらえることが出来る内容である。

月経のしくみを中心に置きながらも、男女の第二性徴による変化について具体的に記載されている。月経のしくみについて

は、子宮内膜の変化とホルモンとの関わりや、月経血の形状や量まで詳細に描かれている。また、こうした身体の発育に関連したことには個人差があるということがおさえられている。

さらに、科学的な側面のみではなく、月経中の「エチケット」「対処法」というタイトルで、日常生活の過ごし方と大きくは変わらないが、対処するときにはどのようにすればよいか、ということが小学生の具体的な生活パターンをあげて説明されているものが多い。さらに、「月経ノート」「からだノート」という形で、どの小冊子にも末尾もしくは別紙に、月経記録表が付属されている。

これらの科学的な側面の整理、他者との関係の中で自分の身体とどのように関わっていくかということ、月経記録表を通じて、身体の発育を自分の問題としてとらえるとともに、セルフケアによって、より快適な生活を過ごすことができるということを知ることができる内容である。

②身体の発育を肯定的にうけとめることができる内容である。

内容全体をとおして、身体の変化が肯定的なものとして描かれている。さらに、異性の成長に対し、からかったり、相手が嫌がるような対応をしないという記述も多い。また、これは「保護者」を対象とした小冊子の内容にも、必ず押さえられている。

③ピア・エデュケーション的な効果⁷⁾が期待できる。

それぞれの発達段階における子どもたちの具体的な悩みに対し、Q & A形式で答えるというものや、「先パイたちの声」ということで、中学生や高校生になった子どもたちがどのように初経を経験したかが載せられている。これらの記述から、同年代の他者がどのように身体の変化を受け止めたのか、何に対し不安を感じているのか、そ

してそれらと自分との違いを知ることは、ピア・デュケーションとしての効果が期待できると思われる。

④個別対応が可能である

どの小冊子にも、同社の相談センターおよび、電話やインターネットによる相談機関が紹介されている。これらの試みは、より個別の問題がある場合にそれぞれへの対応が可能である。

2) 女性の「産む性」としての月経をめぐって

これらの特徴に加え、月経の科学的な説明や、ライフステージの記述の中には、「産む」性としての女性像が強調されている部分も少なからず見られている。これは、現在配布されている小冊子や情報サイト上の内容を見ると、初期に配布された小冊子に比べて格段と少なくなっているが、男女の内性器や外性器を説明する際に、女性の場合の説明にのみ「子宮内膜」は「赤ちゃんのおふとん」、「赤ちゃんが安心して眠れるおふとん」であり、常に「受精卵の着床をまって」いるものであるというものの、「子宮」は「赤ちゃんのお部屋」であり、「赤ちゃんを育てる部屋」で女性の身体は受精卵を常に「待機」しているものであるという表現がみられる。これは男性の機能の説明には少ないのである。しかし、近年のものになると、必ずしも女性にのみ「産む性」を強調するような記述をした小冊子は少なくなっている。

3) 男子の身体の発育

小冊子の内容には、男子の身体の発育の記述は見られるが、どの企業も男子向けの小冊子の配布は行っていない。しかし、P & Gにおいては、小冊子と連携して利用できるビデオ教材を開発していたが、その内容は、生理用品以外の身体の発育の部分は、男女ともに学校の教材として利用でき

るよう構成されている。また、同社では、小冊子の配布を停止し、保護者向けの教材を開発しているが、その中に、男子の身体の発育について、より具体的に描かれるようになっている。それには、男性の身体機能の詳細とともに、身体の発育に関して、「男の子」から相談を受けた際の対応の仕方なども含まれている。

（２）P & G社の取り組みから

続いて、３社のなかでも、系統的な取り組みを確認することができたP & G社について、その活動を検討していきたい。同社は1988年から教育プログラムを行っている。1988年から小冊子および試供品の配布を行っていた。小冊子の内容は、前述した特徴に加え、自分の身体のしくみをきちんと知ることと他者への思いやりを身につけること、といった関係性に関する部分についても触れられている。また、初期に配布されたものは、エイズ／HIVについて、話題となった時期であったことから、それに関連した項目が設けられている。また、保護者向けの小冊子の内容が、以前は母親のみを対象としたものであったが、保護者に変えられていたり、時代に応じた内容に更新されている。

これに加え、学研と共同で性教育のビデオを作成しているが、その内容は、学校の教育のどの部分で教材として活用ができるかということについて記載されていたり、小冊子の内容・試供品の紹介（月経用品の使い方）と連動した授業展開ができる構成となっている。

同社の事後調査から、生理用品の販売促進において、小冊子および試供品の学校への配布は効率的ではないと判断され、2002年からは中止された。しかし、それに変わるものとして、同社のホームページ上に子どもたちを対象としたサイトが作成される。その後、2005年には、学校の子どもたちを対象とした小冊子の配布に変わるものと

して、保護者を対象とした変えた取り組みが新たに立ち上げられた。これは身体の発育についての詳細に加え、保護者自身が性を学ぶことができる内容となっている。さらに子どもたちに性に関する事を聞かれたときに、どのように答えれば子どもたちが肯定的に身体の発育をうけとめられるかについても考慮されている。さらに、「知識が身を守る」として、DVや性犯罪、虐待など、子育てや家族関係全般に関わる情報機関の紹介も記載されている。これらの教材はインターネット上からダウンロードすることができ、教材として、学校教育でも活用することが可能であり、実際に授業参観等で教師が活用した記録や、それに対する保護者の反応なども見ることができる。

これらのことから、企業としては月経用品の顧客となることを目的としているため、「ビジネスへのリターン」が重視されたことで小冊子の配布は中止され、より効率的なインターネット上の取り組みや保護者にシフトされてはいる。しかし、作成された教材の中身や、学校教育との連携を目的とした実践を見ると、教育的効果のある教材としての社会貢献性は高いと思われる。たとえば、小冊子の監修は、医療系の専門家や学校保健学会に任せられており、科学的な内容の伝え方を見ても、事実をどのようにわかりやすく提供するかという視点、子どもたち・保護者がどのような点に悩みを抱えているかについての内容は具体的であり、優れている。さらに、ホームページ上の紹介や、小冊子のイラストなどを見ても、子どもにも、そして保護者、教員にもわかりやすく、受け入れやすいセンスを持っており、学ぶべき点が大いにあると思われる。

参考文献及び脚注

1) 小野清美：生理用ナプキンにおける現状と今後の課題—インタビュー調査および

インターネットなどの分析から一、思春期学, vol22. No3, 410-416p (2004) : 小野は、企業の月経用品（生理用ナプキン）の開発姿勢について、製造者と薬店のインタビュー調査、インターネットおよびパンフレット（企業から発行された「生理用品」に関するパンフレット）の分析を行なっている。その結果、企業は安全管理、品質管理、衛生管理、価格重視、循環型環境社会へ向かっていること、快適性・利便性に向けての開発姿勢があること、企業の販売戦略はテレビコマーシャルとインターネットを狙いとしていること、薬店の販売方法は、新製品のサンプル表示により、実物を見せ、商品を選択させていることを明らかにしている。小野は販売者を対象としたパンフレット（小売価格、サイズ枚数他）の検討を行なっている。また、インターネットの内容分析を行なっている。

2) エーシーニールセン「2000 年トイレタリーTOP50 ブランド分析」。エーシーニールセンによると、ブランドの定義と販売金額、分析方法については、以下の通りであるとしている（一部抜粋）。「一貫性を持たせるために、『ブランド』の定義を『同じ製品カテゴリーにおいて、同じメーカーから販売されている、同じ名前を持つ製品のグループ』とし、同じ名称でも消費者のニーズを代用できない別カテゴリーに属する場合は別ブランドと定義して、販売金額の年間集計を行なった。ここで言う『販売金額』とは定価ではなく、POSレジを通過した時の金額を反映している。なお、このトップ 50 ブランドは、エーシーニールセンが継続的に販売動向を調査している、トイレタリー約 70 カテゴリーを利用して分析した。」「また、今回のランキングには、SCANTRACKトイレタリーカテゴリーをカバーしている、GMS、SM、CVS、薬局、薬店のデータを使用した。」

3) 小田洋美「〔解説〕ナプキンなるほどエトセトラ 賢く選んではつつ人生」特集「第二の誕生」ー少女と月経, 性と生の教育, No. 17, P 42 - 45, (1998. 7)

4) 前掲エーシーニールセンの調査報告（1999）の中で、山本隆は、10 代を対象とした企業の取り組み自体は生理用品に限ったことではないが、それについて、化粧品、生理用品、下着などのメーカーが「10 代前半の女性に対し、本格的な利用層に育つ前にいち早く自社商品をアピールし、固定ファンとして囲い込む作戦」を立てており、「少子化という逆風を克服して、若者向け市場で業績を伸ばすためには、より若い世代を“入り口”で押さえることが重要」であるとし、「未来の消費リーダー」を引き付けようと、各社は商品開発やチャンネル開拓に工夫を凝らしていることを指摘している。

5) 文部科学省「学校基本調査ー平成 17 年度、小学校の学校数・学級数・児童数及び教職員数」によると、埼玉県 833 校、千葉県 867 校、東京都 1389 校、神奈川県 907 校という結果である。

6) P & G 社の担当者は、「ウィスパー『始・春・期』プログラムとは、思春期が始まる頃を新たに『始・春・期』と名づけ、春を迎えるように思春期をスタートできるよう応援するプログラム」であると述べている。

7) 高村寿子: 思春期の性の健康を支えるピアカウンセリング・マニュアル, 小学館 (2005)

〔表1〕対象企業の特徴

企業名	ユニ・チャーム(チャーム工業株式会社)	花王(花王株式会社)	P&G(プロクター・アンド・ギャンプ・ファーマー・イースト・インク(株)日本)	大王製紙(大王製紙株式会社)	資生堂(株式会社エフティ資生堂)
企業の特徴	1961年、(株)大成化工(ユニ・チャーム社の前身)設立。建材の製造を中心としていたが、1963年には生理用ナプキンを製造、販売を開始。市場参入8年で生理用品トップメーカーとなる。1971年にはテレビコマーシャルによる生理用ナプキンの宣伝を行なう。1974年、ユニ・チャームに改称。2001年からは対象を女性から生活者に広げ、ライフサポートインダストリーとしての新企業理念『NOLA% DOLA』を打ち出した。NOLA% DOLAとは、Necessity Life with Activities&Dreams of Life with Activitiesの略である。「赤ちゃんからお年寄りまで生活者が様々な負担から開放されるよう、心と体をやさしくサポートする商品を提供し、一人ひとりの夢をかなえるために力を尽くし続けていきます」という「決意」が込められている。近年では、若年齢層へのタンポンの浸透を目指しており、「ソフィなめらかスリムタンポン」は、2000年度グッドデザイン賞を受賞した。	1887年、長瀬商店(花王社の前身)を創業。化粧石鹸を中心に国産石鹸や輸入文房具を販売。その後、生理用ナプキンを製造販売を開始。1985年、現社名に改称。数多くの部門でトップシェアを誇り、「花王ウェイ」を企業理念としており、「使命、ビジョン、基本となる価値観、行動原則」で構成されている。1978年からは高分子吸収体を生理用品に導入。また、独自の「社会貢献活動」も展開しており、その一例は、「ジャンプーのきざみ」を提案したのは花王である。同で1995年からバリアフリーに関する活動を実施。企業や各種団体を対象に年間100-200件の配布を実施。その後2004年からは小学校低学年向けのバリアフリービデオ『みんなで作るかな？バリアフリーについて考えてみよう』を制作している。	1972年に、P&G(米国)、(株)日本サンホーム、伊藤忠商事の共同出資で現P&G(日本)の前身会社で設立。1976年には日本P&Gを米国P&Gの100%出資により設立。その後、粉末洗剤、台所用洗剤、紙おむつの製造、販売を行なう。1986年より生理用ナプキン「ウィスパー」の製造、販売を開始する。米国に本拠を置くP&Gグループは1837年、石鹸製造業のジェームズ・ギャンブルと、ローソク製造業のウィリアム・プロクターの共同出資により設立。石鹸(アイボリー石鹸)、紙おむつ(パナパース)等が当初の代表商品である。会社の「中心となる価値観」は「リーダーシップ、オーナーシップ、誠実さ、勝利への情熱、信頼」とし、「社員ひとりひとりが誠実であること、すべての個人を尊重すること、そして常に正しいことを行なう」事を伝統とし、世界中の消費者の生活向上させる商品を研究、開発しているが、中でもマーズ・ペーパーに力を入れているのが特徴である。	1943年国内総合製紙メーカーとして、四国紙業14企業の合同合併により設立。1981-2年、生理用品市場に参入。製紙会社としては、王子製紙、日本製紙グループと並びトップメーカーである。クオリティの高い紙を迅速かつ安定した価格で提供することを「最大の使命」と考え、植林から生産までの生産活動と環境との調和を念頭におき、一貫した供給システム構築を展開している。また、独自の「手づくり販売体制」を基礎に、時代のニーズに柔軟に対応できる設備計画を推進「独自の営業戦略、競争力の優位性、環境対策、人材育成」を社の特徴としている。家庭紙では「エリエール」ブランドを展開しており、国内最大手の総合製紙会社である。	1872年に洋風調剤薬局として設立。日本にはない医薬分業システムの実践を志し、設立された。1888年に歯磨石鹸を国内出荷開始で販売。以後、現在に至るまで、石鹸、化粧品を中心としているが、1965年には生理用品市場に参入。『The Shiseido way』を企業理念としており、「お客さまとともに、取引先とともに、株主とともに、社員とともに、社会とともに」から構成されている。2001年～2000年からは「ポジティブアクション5つの目標」を定め、2003年には、「ジェンダーフリー委員会」を設定。男女を問わず能力を発揮することができる企業風土作りへの具体的な解決策を検討、実践している。近年では、新規消臭剤である疎水性ゼオライトを生理用ナプキンに配合、エフティ資生堂より2002年から販売。
本社所在地	東京都 本店は愛媛県であるが、本社事務所は東京都	東京都	日本における事業主体は神戸市・本社は米国(シンシナティ市)	愛媛県	東京都
生理用品 (代表商品)	ソフィシリーズ、チャームソフト(タンポン)、エルディ(タンポン)	ロリエシリーズ	ウィスパーシリーズ	エリスシリーズ	センターインシリーズ

〔表2-①-i〕ユニ・チャーム（チャーム工業株式会社）

タイトル	「すてきなレディへの第一歩 新しいわたしにSAYHELLO!」
配布時期	平成4年～平成13年
発行	ユニ・チャーム株式会社
企画・制作	ユニ・チャームお客様相談室
対象	小学生（女子）
監修	堀洋二（堀産婦人科）
制作協力	吉岡孝子（桐朋学園小学校養護教諭）、宗像伸子（食生活アドバイザー）、小学校のお友だち、作画は木花さくや
形式	漫画と文章との混合であり、2部構成(STEP1おとなになるって？STEP2月経のとき、どうすればいいの？)
内容	
タイトル	詳細
STEP1：どれくらい知ってますか？『からだ』のこと。	第二次性徴〔ひげ、肩幅、皮下脂肪、骨盤、乳房他〕
時期や発達の様子	発達の時期 個人差
『からだ』の中にも変化が生まれます	排卵、初経、月経、精通、内性器、子宮 受精卵、妊娠、陰茎、受精、受精卵
月経のしくみ①『月経ってどういうことなの？』	原始卵胞、排卵、子宮内膜のしくみ、時期 月経周期や期間、月経周期の数え方 経血の形状、月経の個人差
もうすぐおとな・・・準備はできてるかな？	初経経験の前触れや準備しておくといよいもの、初経に対する印象〔同社調査〕 先輩たちの経験談：経血の色、開始時期、母親とのやりとり
STEP2：月経中のすごし方①エチケットを守ってさわやかに過ごしましょう	月経血の出る場所〔文章による〕 用意するもの〔生理用ショーツ、ナプキン、ポーチ〕
月経中のすごし方②ちゃんと正しい手当てができますか？	ナプキンの使い分け、ナプキンの種類 ナプキンの捨て方 ショーツの洗いかた
月経の日も明るく元気にすごそう！	起床から就寝までの行動と注意点 着る服 食事 月経中のおい 体育時のナプキンあと 月経痛 友人宅でナプキンを捨てる場所 母親の月経痛 風呂、就寝
月経のこんなことが心配。トラブル相談室〔Q&A〕	初経時期 月経痛、月経不順、月経血の形状や量、おりもの、月経を調節する薬 中間期出血
生理用品はじょうずに使いわけましょう	昼用、夜用の使い分け、不織布と新素材、羽根つきの違い
月経中のすごし方③タンポンって、どんなもの？	タンポンの構造、メリット、入れる場所〔内性器の説明〕 Q&A〔取替えの時期、使える年齢、利用上の注意〕
（末尾〔電話相談室〕）	月経についての質問受付：ユニチャーム相談室 思春期ホットライン、子ども110番、横浜女性フォーラム心と体の生き方相談室、ウイメンズセンター大阪、体と心の電話相談、都道府県中央児童相談所内相談所電話相談室
（最後の見開き）	わたしのからだカレンダー〔月経記録表〕

〔表2-①-ii〕ユニ・チャーム（チャーム工業株式会社）

タイトル	はじめてからだBOOK for girls
配布時期	2004年～
発行	ユニ・チャーム株式会社
企画・製作	ユニ・チャームお客様相談室
対象	小学生
監修	井尾裕子〔井上レディスクリニック院長〕
形式	文章とイラストの混合、構成は「5年1組時間割」であり、1時間目から放課後に分けられている。
内容	
タイトル	詳細
1時間目『はじめてのからだ』どうなるの？	第二性徴〔自己診断テスト形式〕：身体的変化、精神的変化と対処法 変化する身体を肯定的にうけとめる 女の子〔胸のふくらみ、おりもの、生理、腋毛、骨盤とおしり、陰毛〕と男の子〔肩幅、にぎび、ひげ、陰毛、性器の発達と写真、すね毛、腋毛、のどぼとけ〕 女性ホルモン、男性ホルモン 男の子へのお願い、女の子のお願い：からかいをやめる 内性器：卵管、子宮、卵子、卵巣、膣の説明、精巣、精管、精子、陰茎 生命誕生、受精〔精子王子と卵子姫との出会いのドラマ〕
2時間目『初めての生理』どうなるの？「生理知識テスト」	生理知識テスト：初経経験年齢の個人差、初経経験時の体重の個人差、身長、身長の停止、食生活、月経時の身体的・精神的症状、月経中の入浴、怪我の血液と月経血との違い、周期、相談機関〔思春期外来、産婦人科〕
生理ってどんなもの？何が起るの？	月経周期による内性器の変化 女の子のからだストーリー：出生時から閉経までの身体の変化
3時間目『女の子のエチケット』	月経をむかえるにあたり、準備しておくもの〔生理用ショーツ、手帳・カレンダー、ナプキン、ポーチ〕 ナプキンの利用法、使い分け、生理ショーツのタイプの紹介 生理用品の捨て方、公共トイレの使い方、ショーツは自分で洗うこと、干し方 ナプキン持ち運び術：隠しながらトイレに運ぶ方法 不織布〔音がしない〕のナプキンは音がしないこと
4時間目『生理中の快適な過ごし方』PART1	月経中の起床から就寝までの生活の工夫や対処法
PART2	ストレッチ、足湯ほか冷え対策、精神症状の安定のための対処
PART3	タンポンの説明〔使用法・構造〕とQ&A、トキシック症候群
放課後「みんなの不安はここで解決！」PART1	もうすぐ生理さんの不安：初経の「もうすぐサイン」〔一年前からの身体の変化〕、初経時の経血の性状、外出先での初経、運動をしていると初経が遅れるのか、おりものの形状
PART2	生理初心者さんの不安：月経随伴症状、月経がうつるか、経血の性状、月経期間、ナプキン交換、中間出血
PART3	生活&エチケットの不安：体育の授業、友人宅への宿泊、経血のにおい、もれ、生理の日をかえる薬、ダイエットの月経の関係、食生活の注意点
おうちの方へ 子どもと生理のこと、どう話す？どう考える？	対応：肯定的に。学校では「生物的」に、家庭では「愛情」で伝える。 ネガティブではなく。「感覚」でつたえる。
（電話相談機関・インターネットサイトの紹介）	子ども110番、思春期保健相談ホットライン、ハートブレイク等 はじめてのからだナビ

〔表2-①-iii〕ユニ・チャーム（チャーム工業株式会社）

タイトル	はじめての不安、おぼえていますか？おかあさまの相談室
配布時期	平成4年～〔現在は配布していない：停止時期は確認できないとのこと〕
発行	ユニ・チャーム株式会社
企画・製作	ユニ・チャームお客様相談室
対象	小学生の母親
監修	堀洋二〔産婦人科〕
製作協力	吉岡孝子〔桐朋学園小学校養護教諭〕、宗像伸子〔食生活アドバイザー〕、「おかあさま方有志」、作画は長尾可奈子
形式	文章とイラストの混合であり、3部構成〔PART1：女の子が揺れ動く季節です PART2：いちばんの先生はおかあさま PART3：女の子はみんなレディ〕である。
内容	
タイトル	詳細
PART 1	①月経・生理・初経をどう思うか②はじめて月経・生理という言葉聞いた年齢③月経・生理という言葉誰から聞いたか④月経・生理になったらまず誰に話すかといった同社の調査を基に、他者の視線が気になる時期であり、情報が豊富である現代において、初経教育、性教育が重要な意味を持つこと、母親として子どもの問いかけを受け止められるかが重要であること 中学校から高校の男女の子どもをもつ母親4名と同社の司会者による座談会：子どもたちの体の発達の変化、経験時の対応、男性の家族との対応、対応の失敗談、エチケット、学校での指導の限界と家族の対応、コミュニケーションの重要性〔オープンに〕、学校や公共の場でのエチケット
PART 2	①おかあさまのためのからだ講座：男女の身体の変化とホルモン、親としての対処法 ②おかあさまのためのからだ講座：女性と男性の違い、それぞれの性の大切さ、性の違い、月経のメカニズム：子宮、卵巣、ホルモンの月経周期ごとの変化、月経のリズム：初経開始年齢、月経が規則的になる時期、経血量、周期の数え方など同社のデータに基づく説明
PART 3	生理用品の準備〔ナプキン、生理用ショーツ、ポーチ〕、ナプキンの捨て方、ショーツを自分で洗う習慣、月経中には体を清潔にすること 初経時のお祝い：家族でオープンに祝福。お祝いのメニューのレシピ、貧血対策、
こんなとき、どうすればいいのかしら？：Q&A形式	経血の形状、中間性出血、月経時に控える行動、月経時期を調節する薬、おりもの、産婦人科の利用
生理用品の選び方	ナプキンやショーツ、タンポンの使い分けのポイント
相談	電話相談窓口
からだカレンダー	月経記録表

〔表2-②〕花王（花王株式会社）

タイトル	「おとなになるということ」
配布時期	2000年4月1日発行～
発行	花王株式会社
対象	小学生（男女）、後半部分は保護者
監修	河野美代子〔河野婦人科クリニック院長〕
形式	文章とイラストの混合であり、LESSON1：思春期のからだ、LESSON2：女の子と月経、LESSON3：ここが知りたい！Q&Aは生徒を、後半「おうちの方へー思春期の心とからだー」は保護者を対象としている。試供品と生理用品の紹介、ショーツの紹介、相談機関、からだのカレンダーがリーフレットとともに袋に入れられている。
内容	
タイトル	詳細
LESSON1	男女の思春期の体の変化とホルモン 女子の内性器と外性器、男子の外性器の説明、勃起と射精、卵巣、卵子、子宮、精巣 体の変化の個人差 身体の変化のみがおとなになることではないこと
LESSON2 女の子のからだ	脳とホルモン、子宮内膜、月経周期、経血の形状、期間、周期、量、月経随伴症状、個人差
初経はいつくるの？	初経経験年齢、用意するもの〔ナプキン、生理用ショーツ、カレンダー、ポーチ〕、ポーチの作り方
月経のときは、どうするの？	ナプキンをしまうところ、トイレに流さないこと、洗濯は自分でやること、月経時の生活の注意点、ナプキンの捨て方、取替えの間隔
ナプキンって、どんなもの？	ナプキンの断面図、月経時の生理用品の歴史〔原始から現代まで〕、高分子吸収体のしくみ
ナプキンのえらび方は？	ナプキンの素材、大きさ、形やサイズ
わたしが初経をむかえたとき	初経経験時の感想、周りの人がどのような対応をしたか、等の「先輩の声」
LESSON3 女の子・からだ編 (Q&A形式)	初経経験と身長停止、おりもの、貧血、月経周期の周期性、月経随伴症状、月経血の形状、月経期間、月経期間を調節する薬、月経期の違い
女の子・生活編 (Q&A形式)	普段と同様でよいこと、着る洋服、入浴可、学校や外出先での対処、修学旅行にむけての準備、ナプキンの買い方〔自分で買うこと〕、月経であることを知られたくないこと、タンポン、月経がうつること
男の子編 (Q&A形式)	ペニスの大きさには個人差があること、朝立ち、体の変化には個人差があること、精液と尿は混ざらないこと
おうちの方へー思春期の心とからだー	思春期の体の変化とホルモンとの関係 初経教育3つのポイント：誰が、いつ、何を 精通や射精時の対応 自然の性と文化の性があること：性行為は人間同士のコミュニケーションが前提であること
ドクターからのアドバイス	大切なからだの情報はきちんと伝えること、自己管理 月経記録をつけること、相談できる存在でいること 男子にもしっかり教えてあげること

〔表2-③-i〕 P&G（プロクター・アンド・ギャンブル・ファー・イーストインク）

タイトル	「BODY NOTE」
配布時期	具体的な時期は不明であるが、小冊子を配布した最初の時期であるとのこと。
発行	P&G
対象	小学生～中学生（女子）
監修	堀口雅子〔虎ノ門病院産婦人科〕、山本直英〔“人間と性”教育研究所所長〕
形式	漫画と文章との混合であり、全体的にQ&A形式である。小冊子の余白部分も一行Q&A形式となっている。付属冊子として、「ウィスパー生理用品ガイドBODY NOTE」があるが、これは部活や勉強など、それぞれの行動にあわせた生理用品の使い分けが商品紹介とともに記載されている。
内容	
タイトル	詳細
巻頭原稿：「あなた自身を発見する旅へ」	北沢杏子〔教育評論家〕：自我の芽生え、異性拮抗期、同性愛期、年長異性思慕期、異性愛期
大人度チェック	初経や身体の発達、人間関係の築き方他によって、5段階の「大人度」を確認できる 大人度：自分の体の仕組みや働きをよく知っていること、他人への思いやりが持てること、社会のエチケットやマナーも守れること
男女のからだつきの違い	ホルモンの影響、男女ともに身体の変化があること 月経に対応して射精があること、その時期 初経経験年齢、受精のしくみ、月経のしくみ〔内性器の説明〕、子宮内膜
卵子と精子の出会いってとても神秘的なんですね？	生命の誕生は精子と卵子の出会いに始まること、生命の尊重
からだや心のこと一人で悩まないで	山本直英と堀口雅子の対談：身体の変化には個人差があること、主体的に自分の身体を受け止めること、からかいなどへの対処法、月経随伴症状
Q&A形式	月経周期の不規則性、おりもの、月経痛を和らげる体操、ダイエットと月経停止、男子のからかいへの対応、女性のマスターベーション、体育の時間の過ごし方、タンポンの利用法、月経時の入浴時の注意点、修学旅行時の月経のマナー
自分の体を知ること、エチケットを守ることが素敵な大人への第一歩です	体カレンダー：月経記録表、ナプキンの捨て方、ショーツは自分で洗うこと、トイレでのマナー
エイズのこと正しく知ってますか？	日常における微生物、エイズの原因はウィルス、エイズの治療法はないこと、感染経路、エイズに感染しないこと〔握手やキスなど〕
ナプキンの種類と使い分け	ドライメッシュシート、ウルTRASリム他、機能の紹介 ナプキンの捨て方
体カレンダー	月経記録表
ウィスパー110番	電話相談

〔表2-③-ii〕P&G（プロクター・アンド・ギャンブル・ファー・イーストインク）

タイトル	「もうすぐあなたも、ステキなおとな 女の子ブック」
配布時期	具体的な時期は不明であるが、小冊子を配布した最初の時期〔①の後に配布されていた〕であるとのこと。1988年にはブラジャーの箇所が改訂されており、2002年3月まで配布されていた。
発行	P&G
対象	小学生〔女子〕
監修	堀口雅子〔虎ノ門病院産婦人科〕
形式	文章とイラストの混合であり、全体的にQ&A形式になっている。「Active girls Hello! Present for you」と書かれた袋に入れられており、内側左が「for girls」であり、小学生用、右が「for parents」であり保護者用の小冊子が入られるようになっている。これらの小冊子に加え、「ウィスパー」の試供品〔ウィスパー1個、ウィスパースリム2個、ウィスパーフットクッション2個〕が付属されている。
内容	
タイトル	詳細
からだも心もおとなになる準備をしています	友達と月経の話をしたことがあるか、など身近な話題から、自分の体を知ることの重要性
	体の変化とホルモンの働き
月経は赤ちゃんのベットになるはずだったもの	内性器、子宮、月経のしくみ
男の子のからだってどうなっているの？	性器の違い、ホルモンの変化
でも、月経ってやはり心配かしら？	月経の意義、初経がくる「あいず」としての身体の変化、月経血と血液との違い、月経期間、月経周期、月経の言い方、生涯における月経期間、男の子には月経はないこと、月経は病気ではないこと
月経のときに必要なものを知っていますか？月経になってもあわてないためにこれだけは用意しておきましょう	ナプキンやポーチの作り方、生理用ショーツ、からだカレンダー〔月経記録〕、ショーツの洗い方
まだ月経になっていないあなた 何が心配かな	個人差、経血量、形状、経血の出る場所、ナプキンのつけ方 月経ははずかしいものではないこと、体育を休まなくてよいこと、初経を経験したときに伝える相手、月経随伴症状の個人差、タンポン
月経が始まったあなた、毎日の生活、どうしていますか？	おうちでは：先輩のお姉さんたちが回答：ナプキンの置き場所、使用後のナプキンの処置、ナプキンは自分で選ぶこと、月経時でも入浴できること、 学校では：トイレにナプキンを持っていくときの方法、移動教室時の対処法、水泳、横モレへの対処 旅行や外出のときは：旅行時のナプキンのタイプ、もらってしまったときの対処、シーツは自分で洗うことなど
からだカレンダー	月経記録のつけかた ナプキンの種類と使い分け、構造の説明、ナプキンのあてかた、捨て方
おめでとう！初経を迎えた日	初経経験の日時、身長、体重が記入できるようになっている
ウィスパー、困ったときの110番	電話相談

〔表2-③-iii/iv〕P&G（プロクター・アンド・ギャンブル・ファー・イーストインク）

タイトル	a. 「女の子をお持ちのお母さんへ マザーズブック」 b. 「女の子の保護者の方々へ」
配布時期	1995年以前は「女の子をお持ちのお母さんへ マザーズブック」であったが、この4から5年〔2000年当時〕は「女の子の保護者の方々へ」として配布しているとのことであった。現在は配布していない。
発行	P&G
対象	a. は小学生の母親、b. は小学生の保護者
監修	堀口雅子〔虎ノ門病院産婦人科〕
製作協力	静岡県養護教諭有志の方々
資料提供	b. のみワコール〔ブラジャーの記載〕
形式	子どもたちを対象とした小冊子および試供品とともに配布された。イラストと文章による形式である。
内容	
a. 「女の子をお持ちのお母さんへ マザーズブック」	
タイトル	詳細
「お母さんのための体セミナー」	「おとなと子ども」の体の違いとその仕組み〔下垂体や女性ホルモン、第二次成長〕、男女の体の違い、月経のしくみ〔生理学的な変化、経血の形状など〕
学校での“性”の学習とともに	理科や保健で取り扱うことを説明、学校教育における性教育の利点と、学校と家庭とが手を取り合うことの重要性 女の子の性や体の悩みに気づくのは「お母さん」であること 家庭での夫婦のあり方は、子どもの性意識に影響を与えていること
とまどいを感じるお母さんへ	思春期の心に寄り添って、生き方を学ぶ性教育を教えてほしいということ 学校の性教育にかかわりを持つこと ブックガイド：本の紹介 女性の性器、射精・精通、性交〔セックス〕、妊娠・出産、エイズという語句をどう伝えればよいか
初経を迎えた子どもへの対応：Q&A形式	ナプキンやショーツの用意、使い方、捨て方 学校の教師に初経経験を伝えておくこと、入浴可能であること、ショーツは子どもに洗わせる習慣をつけること、プールには入らせない方がよいこと、学校ではポシェットに入れさせること、月経時の服装、初経は女の子なら誰でも経験するものだとな不安をとりのぞくこと、 成長期の子どもたちに食べさせたい朝食メニュー
さわやかに“性”を語り合える家庭を	何気ない会話の中で、性の大切さ、すばらしさを伝える必要
子どもの生活、気になりますね：Q&A形式	ボーイフレンド、胸の成長、成長には個人差があること、反抗期、父親との関係が男女のモデルになっているので気をつけること、兄弟を男女として意識しないことへの助言、ブラジャーをつける時期、移動教室の際の処置、スポーツ ナプキンの使い分け、種類、捨て方
お子さんが初経を迎えた日	子どもの初経経験の日時、体重、身長を記入
ウィスパリー、困ったときの110番	電話相談
b. 「女の子の保護者の方々へ」	
タイトル	詳細
a. 「女の子をお持ちのお母さんへ マザーズブック」とほぼ同様の内容であるが、タイトルの変更とともに、表紙は母親のみのイラストから家族が談話しているイラストに変更している。削除および変更された内容は、「成長期の子どもたちに食べさせたい朝食メニュー」、Q&Aでは、胸の成長、父親との関係が男女のモデルになっているので気をつけること、移動教室の際の処置、スポーツについて削除されている。「第二次反抗期」に母親に反抗するとされていたが、「両親」と変更されている。また、ナプキンの使い分けについて、月経血量、日常生活の説明に変更されている。堀口雅子の経歴が更新。	

〔表2-③-v〕P&G（プロクター・アンド・ギャンブル・ファー・イーストイंक）

タイトル	「おとなへジャンプ」
製作	(株)学習研究社
企画	P&G
制作委員会	田村誠（横浜国立大学教授）、堀口雅子（虎の門病院産婦人科）、高田公子（小学校校長）、廣瀬維謙、田中久美子、細谷麻由美、小原綾子、小林まき、室田悦子（いずれも養護教諭）
対象	小学生5～6年（男女）、小学生の保護者
制作年	1999年
監修	堀口雅子〔虎ノ門病院産婦人科〕
形式	男女共修の性教育指導に対応し、男女の二次性徴を主な内容としている。二部構成になっており、一部は生徒用、二部は保護者用、情報コーナーとなっている。二部は保護者会等の機会に家庭と学校が協力しあうきっかけとして活用することを目的としている。説明書には、「女の子ブック」と合わせた教材の展開「それぞれの箇所に「女の子ブック」のページが記載されているなど」が記されている。
内容	
タイトル	詳細
巻頭	特別活動、体育、理科、道徳のどの領域の資料として活用できることが記されている。
①二次性徴について	発育速度、個人差、男女差を図、グラフの資料を活用し、具体的な違いを示している。発育急進期であること。二次性徴と体の変化、男女の体の違い、ホルモンの働きかけ
②女の子の体の変化	1. 性器の構造と役割の理解のために、性器、排卵のしくみ2. 月経の意味、月経がおきるしくみについてホルモンとの関連から、時期について内性器の図によって説明
③男の子の体の変化	射精や精通のしくみ
④女の子の月経について	女子のみを対象：月経時の生活のしかた、ナプキンの役割、しくみ、正しい処置のしかた、月経周期表の書き方、自主的に用意できること
エピソード	月経は病気でないこと、月経随伴症状の個人差、対処法、始末のしかた
（保護者用・情報コーナー）	学校での指導の実態の説明、家庭での話し合いの重要性、学校と家庭の両方で教育を行う重要性、個別対応は学校でも必要であること、自分でケアする習慣を持つこと、主体的に他者と関わり、「同性・異性を問わず、他者へのいたわりの気持ち」を育成することが重要であるとしている。

〔表2-③-vi〕P&G（プロクター・アンド・ギャンブル・ファー・イーストイंक）

タイトル	「受験期をのりきる！ワンポイントアドバイス『あっ、試験日が生理日だ』でも、ぜんぜん心配いりません！」
配布時期	2002年冬～
発行	P&G
対象	小学生（女子）
監修	堀口雅子〔虎ノ門病院産婦人科〕
形式	見開き1ページであり、主にQ&A形式、「成功経験談」で構成されている。
内容	
タイトル	詳細
ふだんから気をつけたいこと	月経周期のこと、初経経験の個人差、漠然とした不安への対処である。漠然とした不安への対処は保護者（母親）に向けて記されており、その中身は妊娠・出産と関係なく女性として生きるためにも、母になる日のためにも、月経は大切なもの」であるということ先輩として伝えることをすすめている。
受験勉強中は・・・	受験中の食生活、リラックス法、随伴症状への対策
さあ、いよいよ受験本番！	試験時の対処法、試験場で生理が始まった場合、ビルによる対処法
（裏表紙）	同社が行なった「月経と生理用品（ナプキン）に関するアンケート」結果と、商品紹介があり、「ウィスパーブチ」、「ウィスパー受験.com」、携帯電話に月経予定日を知らせてくれる「月経サイクル」という独自のサイトが紹介

【表2-③-vii】P&G（プロクター・アンド・ギャンブル・ファー・イーストインク）

タイトル	「思春期の子どものココロとカラダ 子どもに教える、そのときに」別冊付録 「ウィスパーで生理ってわるくない!『ハッピーサイクル』の提案」
配布時期	2005年4月～（ハッピー始・春・期プログラムの一貫として）
発行	P&G
対象	小学生の保護者
監修	堀口雅子〔虎ノ門病院産婦人科〕
医学監修	財団法人 日本学校保健会
形式	イラスト（図表）と文章による説明である。
内容	
「思春期の子どものココロとカラダ 子どもに教える、そのときに」	
タイトル	詳細
1. 私たちとホルモン	男女の「思春期から更年期」にかけてのホルモンの変動とそれによる影響が描かれている。「月ごとのホルモンサイクル—月経—」では月経周期におけるホルモンの変動と、それによる卵巣、卵巣ホルモン、子宮内膜の状態の変化、基礎体温の変化が記されている。ここでは男子にも女子への思いやりをもてるように、月経にしくみを教えることも大切であるとしている。また、ここではPMS（月経前症候群）についてふれられており、月経前の症状があげられている。
2. 心と体、大切に	思春期は体の基礎を作る時期であること、思春期の心の変化、ストレスの影響についてまとめられている。
3. 体の変化と上手につきあう	「にきびや体臭」の原因と対処法、下着の選び方、体を清潔に保つ方法（入浴方法と性器の洗い方）が記されている。
4. うちの子は大丈夫？	「男の子編」では精通経験時期、包茎への対処、夢精を隠していることへの対処、マスターベーション、「男の子なのに」胸の痛み、親との距離のとりかた、そして「精液とおしっこは混じらない仕組みについて内性器の図とともに説明している。「女の子編」では、初経経験時期の個人差、初経での経血の状態、月経周期の不規則性、月経随伴症状への対処、入浴時の注意点、旅行と重なる場合の対処法、太っていると気にしている子どもへの対処法についてまとめられている。
ちょっと一息 子どもにこんなことを聞かれたら	子どもの質問に対してどのように言葉をかけてあげればいいのかについて具体的に記されている。陰茎の大きさについて自分が小さいのではないかと相談された時（個人差があるということ）、子どもの部屋に「エッチ」な本が隠されていた時（目くじらを立てないこと）、月経と貧血（経血量の個人差と食生活の留意点）、おりもの（ばいきんから守ってくれている事と、パンティライナーの存在）、月経って？排卵って？（赤ちゃんのもとになる卵子は毎月1回、卵巣から出てくるといこと、子宮では「赤ちゃんを育てる場合に備えてふかふかの赤ちゃん用ベッドを用意する」といこと、「赤ちゃんになる卵がこない」ときは「ベット」は「いらなくなる」から排出されるということ）などがあげられている。
子どものナプキンの悩みは	子どもの悩みと大人の悩みの違い、経血量の変化について同社の調査
5. 体を守るために伝えておきたいこと	月経記録によって自分の体を管理するということ（別冊カレンダーの紹介）、男子は勃起や射精のしくみについての正しい知識を伝えることが重要であるとしている。また、自分の体のことであるため、ナプキン選びや下着を洗うのは自分でさせる習慣を作ることが記されている。「性犯罪にあわないために」では、性犯罪の増加の実態と対処法について、知識が身を守るとしている。さらにDV（ドメスティックバイオレンス）についても記されており、保護者自身が子どもの教育に悩んでいる場合のために相談機関の紹介もしている。家庭が「あなたの居場所」であり、「大好きなんだよ」ということを「子どもがはっきりわかるように、言葉や態度」で示すことをすすめている。また、児童虐待防止法についても説明されている。
男の子と女の子の体のしくみ もっと詳しく知りたい時のためのページ	男女の内性器の説明、勃起と精通、月経の仕組み（ホルモン）について詳細が記されている。また、年代別に乳房や乳頭には違いがあるとし、発達にあったブラジャーの選び方が図とともに記述されている。
最終ページ	ハッピー始・春・期プログラムとウィスパーブチなどの同社の情報サイトのアドレス、DVの相談機関、電話相談、本の問い合わせなど連絡先が載せられている。

別冊付録「ウisperで生理ってわるくない!『ハッピーサイクル』の提案」	
タイトル	詳細
月経周期の理由	「女性ホルモン」であり、エストロゲンは排卵を起こしてオスをひきつけようとする「メスのホルモン」で、「女性をイキイキきれいにする」ホルモンであるとしている。また、黄体ホルモンは妊娠を維持するために「ママ化させる」「ママのホルモン」であり、「心身をゆったり落ち着かせる」ホルモンであるとしている。
女性のしあわせ周期～ハッピーサイクル～	「女性ホルモン」の変動によりおこる心身の変化を4つの名称をつけ、それぞれの時期におこる(であろう)症状を説明している(括弧内はその症状)。月経期は「リセット期(片付けをしたくなる、下痢、むくみ、憂鬱など)」、卵胞期は「キラキラ期(アタマがさえる、気分が明るい、お化粧ノリがいい、社交的ななど)」、黄体期前期は「ニュートラル期(顔がべたついてくる、落ち着いた気持ち)」、「黄体期後期」は「アンバランス期(イライラする、だるい、便秘、チョコレートを食べたくなるなど)」としている。
月経記録表〔随伴症状を含む〕	自分(母親)のハッピーサイクルが確認できるようになっており、「お母さま」と「お父さま」のサイクルを記すカレンダーが付属されている。
実践編	時期の対処法(食生活や人間関係の築き方、“カラーリングやパーマ・新しい化粧品”など避けた方がよい行動)が具体的に記されている。ここで、男性の家族や男性に対する対応も記されており、それは「女性にはとても良い時期といまいちの時期がある、という女性ならではのリズムを男性にも理解してもらおう」とし、「女性の男性の生理を理解して、仲良くやっていけると良いですね」とまとめられている。
	月経痛を和らげる体操、ナプキン選びの対処法、商品情報、情報サイトが紹介

〔表2-④〕大王製紙（大王製紙株式会社）

タイトル	「思春期前期の子どもたち おうちの方へ」
配布時期	平成11年度に資料作成（現在は配布されていないとの事）
発行	大王
対象	小学生の親
監修	及川和江（中学校養護教諭）
形式	漫画と説明との混合（見開き右側が漫画、左側が説明）
内容	
タイトル	
詳細	
男女の第二次性徴の「ようす」	体つきの違い、ひげ、射精、月経、性毛、腋毛、乳房他について、その始まりが脳のホルモンによるものであること
月経について	内性器の図とともにそのしくみ、子宮内膜、生命誕生のしくみ、初経時期、周期、月経随伴症状については個人差
Q & A 月経のここが知りたい！	月経の前兆、ダイエットと月経との関係、おりもの、ナプキン交換の間隔、月経時の入浴やプール、体育服の場合に気づかないかということ
月経が始まったら用意したいものアレコレ	サニタリーショーツ(月経用ショーツ)、ナプキン、ボーチなど周辺グッズ
月経期間中のマナー	自分で洗濯すること、月経時の服装、外出時のケア(訪問先による捨て方の違い)、ナプキンの使い方と使用後の捨て方の説明 自分や自分の気持ちを大切にできる人が人の気持ちも大切にできるということ、そして女性になるということは何もかも変わるのではなく、「今のあなたが自分や、自分の宝物を大切に思う気持ち」を持ちつづけることが「なりたい自分」に近づく道であるとしている。
ナプキンの説明	サイズがティーンの体型にあわせたものであること、包装がナプキン「らしくない」に工夫されていること、素材や構造が生活シーンに合わせたものであることがまとめられている。
こんなとき、どうしたらいい？初経前後の子への対応	初経の時期が早まっていること、月経中の入浴が最後だという祖母に対する対応、月経についてオープンすぎる娘への対応、タンポンを進められたことへの対応、親のナプキンと子どものは分ける方がいいのかということへの対応
思春期迎える子どもと、どう向き合う？	性や体の変化について、性教育が浸透し、子どもたちがしっかりした知識をもっていることについて、1992年に小学校低学年に生活科が創設されたこと、そして学年ごとの性教育の内容の説明 思春期には、自分や家族を客観視する時期であることと、それに親としてどう対応すればいいのか